

こんどう

じゅいちろう

近藤 寿市郎

明治3年（1870）～昭和35年（1960）

渥美郡高松村（現 田原市）出身



近藤寿市郎の公職歴は、愛知県
会議員（4回）、衆議院議員、豊
橋市会議員、豊橋市長など、極
めて多彩である。

大正10年（1921）の東南アジア
視察の際にインドネシアの灌漑
用水にヒントを得た後、東三河
の灌漑用水（豊川用水）建設構
想を提唱。これに加えて、豊橋
港の修築整備と赤羽根漁港の三
大事業は、当時「近寿の三大ホ
ラ」と称されたが、戦後になっ
てこの全てが完成されたこと
により、寿市郎の先見性が実証
された。

市内赤岩山頂に豊橋港方面を向
く寿市郎の銅像がある。

市会・県会・衆議院議員、
市長を歴任し、先見
の明があった政治家